

義務者・関係者等に対するヒアリング項目等について（案）

1. 第2回ヒアリングについて

（1）日時・場所

平成20年11月4日（火） 10:00～12:00

全国町村会館 2階ホール （東京都千代田区永田町1-11-35）

（2）ヒアリング対象

解体業者：有限責任中間法人日本ELVリサイクル機構

破砕業者：社団法人日本鉄リサイクル工業会

2. 第2回ヒアリング項目について

（1）解体業者

① 法令上の義務を適切に履行しているか

- ・ 使用済自動車の引取（使用済自動車の調達方法、調達価格及び調達に係る費用）についての現状・課題
- ・ 事前回収物品の回収・処理の現状・課題
- ・ 解体自動車の破砕業者及び解体自動車全部利用者（国内及び国外）への引渡（引渡先の選定、引渡価格）についての現状・課題
- ・ フロン類の回収実務及び自動車製造業者等への引渡についての現状・課題
- ・ エアバッグ類の回収、自動車製造業者等への引渡及び車上作動処理についての現状・課題
- ・ 使用済自動車の再資源化に関する知識及び能力の向上に係る取組についての現状・課題
- ・ 電子マネIFESTシステムによる移動報告（フロン類年次報告を含む）についての現状・課題 等

② 役割分担の在り方

- ・ 引取業及び破砕業等との兼業についてのメリット・デメリット
- ・ 引取業者、フロン類回収業者、解体業者、破砕前処理業者、破砕業者の役割分担についての課題
- ・ 解体自動車全部利用における役割分担についての課題 等

③ 3Rの推進状況について

- ・ 有用部品の回収及び回収した部品のリユース・リサイクルについての現状・課題
- ・ 解体工程及び後工程での処理困難性を高める物品の回収についての現状・課題
- ・ 部品リユースの推進に向けた取組の状況（自動車製造業者等からの情報提供の状況、ユーザーへの情報提供の状況及びリユース部品の品質を保証する方法の検

討・実施状況) 等

④ 将来の自動車リサイクル制度のあるべき姿

- ・ 制度施行による効果と影響
- ・ 制度検討時には想定されなかった新たな課題の発生状況
- ・ 他国における使用済自動車の解体、解体部品のリユース・リサイクル・適正処理の状況（関係物品の輸出後の状況を含む。）
- ・ 短期、中長期的な将来の自動車リサイクル制度の在り方 等

(2) 破砕業者

① 法令上の義務を適切に履行しているか

- ・ 解体自動車の引取（解体自動車の調達方法、調達価格及び調達に係る費用）についての現状・課題
- ・ 解体自動車の破砕前処理後の解体自動車全部利用者（国内及び国外）への引渡（引渡先の選定、引渡価格）についての現状・課題
- ・ 解体自動車以外の廃棄物の受入についての現状
- ・ シュレッダーダストの発生量、性状及び自動車製造業者等への引渡について現状・課題
- ・ 使用済自動車の再資源化に関する知識及び能力の向上に係る取組についての現状・課題
- ・ 電子マニフェストシステムによる移動報告についての現状・課題 等

② 役割分担の在り方

- ・ 引取業及び解体業等との兼業についての現状・課題
- ・ 引取業者、フロン類回収業者、解体業者、破砕前処理業者、破砕業者についての役割分担の課題
- ・ 解体自動車全部利用における役割分担についての現状・課題 等

③ 3Rの推進状況について

- ・ 有用物の回収及び回収物のリユース・リサイクルについての現状・課題
- ・ 破砕工程及び後工程での処理困難性を高める物品の回収についての現状・課題 等

④ 将来の自動車リサイクル制度のあるべき姿

- ・ 制度施行による効果と影響
- ・ 制度検討時には想定されなかった新たな課題の発生状況
- ・ 短期、中長期的な将来の自動車リサイクル制度の在り方 等